

令和7年度 事後評価シート

施策	19インバウンド誘客による国外からの活力の取り込み
K G I	①外国人延べ宿泊者数 【基準値】216千人（令和元年）【目標値】360千人 ②外国人旅行消費単価 【基準値】41千円（令和元年）【目標値】47千円

【細施策シート】

策シート】

			担当部局		観光スポーツ文化部						
細 施 策		19_01	海外との往来を支える基盤整備			施策KGI		①・②			
K G I		国際線の便数（維持・拡大）									
		KGI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
			R 4 年 度	目標値	7 便	目標値	26 便	目標値	27 便	目標値	28 便
		基準値	5 便	実績値	12 便	実績値	20 便	実績値	24 便	実績値	便
				達成率	171.43 %	達成率	76.9 %	達成率	88.9 %	達成率	%
ストック/ フロー	フロー	成果進捗 評価	順調	成果進捗 評価	不調	成果進捗 評価	不調	成果進捗 評価			
7 年 度	要因分析 【必須】	国際線の利用促進に向け、イン・アウト双方でのプロモーションを積極的に展開したところ、旺盛な訪日需要が追い風となり、平均搭乗率が80%を超えるなど好調な利用状況が続いた。この機を逃さず、海外航空会社へのエアポートセールスを積極的に展開した結果、7年7月から上海線が週2便で運航再開、また10月には釜山線が週6便に臨時増便し、ソウル線の週14便、台北線の週3便と合わせて週25便の運航体制が実現した。7年10月末からの冬ダイヤ期間において、釜山線が定期便として週7便に増便となったものの、上海線が運休となったため、7年度末の運航便数は週24便となったもの。（定期便としては過去最多の運航便数）									
	見直し方向性 【必須】	7年度のKGIの実績は想定をやや下回る結果であったが、8年度以降もKGI目標の達成に向け、同様の施策を継続する必要があることから、施策の見直しは想定していない。									